

2011・6・8発行

編集発行人 白井篤子

「憲法9条の会・岩岡」第5回総会を行います

と き：6月18日(土)午後1時30分開会

ところ：岩岡連絡所多目的ホール(小)

総会 午後1時30分～2時ごろ

- ・2010年度の活動報告と2011年度の活動方針、質疑応答
- ・会計報告、監査報告
- ・世話人の改選

映画「黒い雨」上映 午後2時ごろ～(123分、1989年制作)監督・今村昇平

出演・田中好子、北村和夫、市原悦子、沢たまき、三木のり平他

6月4日(土)、日比谷公会堂で「九条の会・発足7周年記念講演会」が行われました。



タイトルは「未来世代に残すもの・私たちは何を『決意』したか」でした。

世界史に残る2011年、九条の会発足の原点に立ち返り、この憲法を礎に、平和といのち・くらしを守ろう、という集会でした。

ノーモア、ヒロシマ・ナガサキ・第5福竜丸にフクシマを加えて、核兵器、原発をなくそうという提起が4人の講演者(大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝、鶴見俊輔各氏)からなされました。

「憲法9条の会・岩岡」も、「未来世代」のことを考え、あらためて私たち大人が『決意』しなければならないと思います。ぜひ第5回総会にご参加下さい。

お願い・総会時、2011年度の会費(年間一口500円、何口でも可)をお願いします(納入済みの方を除く)。

・お手元に「核兵器全面禁止のアピール」署名が残っていませんか、当日お持ち下さい。



4周年記念行事を行いました

5月31日(火)午後、加古川の鶴林寺を会員18人が訪れ、幹栄盛住職に、平和について、鶴林寺の国宝など貴重な文化財について詳しいお話を伺いました。

憲法前文を読む幹栄盛住職

はじめに国宝の本堂で、「9条のもとになる憲法の前文が非常にいいなあと思うのですが」と前文を読まれ、「憲法9条を持って平和を望んでいる国だということを、世界の国々から信頼されているということが非常に大きいと思います。

…憲法を守らないかん政治家が先頭切って憲法を改正すると言うのはおかしいと思うんです。

国民の殆どの者が改正せなあかんと思った時に初めて改正したらいいので自分がリードすることはないと私は思っております。

守り抜くということは非常に大事だと思います」と話されました。



その後は、朝鮮から渡来した僧、恵便（えべん）に仏教を学んだ聖徳太子が、秦河勝（はたのかわかつ）に命じて播磨の国に寺を建てさせた鶴林

寺の由来、本堂、太子堂、鐘楼、さまざまな仏像、九品来迎図などについて、実物を見ながら、こういう機会でもなければ聞くことができなかつたであろうお話をさせていただきました。

狭い鐘楼に大勢が上り、朝鮮から来た鐘の、「姿はあまり美しくないが、音は鶴林寺と言われる」鐘の音を聞かせてもらいました。

中でも面白かったのが「九品来迎図」です。

30年前、すすで真っ黒の太子堂の壁に絵が描かれているのに気付いた幹栄盛住職が、赤外線カメラで撮影したものを東京芸大が再現したのが右の絵です。

死ぬときのお迎えには、上の上から下の下まで9種類あって、左上のお迎えは上の上、音楽付きです。



私たちは善行を積んでいるので、死ぬときは音楽が聞こえて、最高のお迎えが来てくれることでしょう。

右下には、火の車を3匹の鬼が引っ張っている地獄行きのお迎えが描かれています。

「4周年記念行事」は参加者に大変好評でした。

なお、幹栄盛住職のお話、鐘の音は録音してあります。

九品来迎図の絵もありますので、聞きたい方、ご覧になりたい方は白井までご連絡下さい。

鶴林寺時空の旅

祇園精舎の鐘の声
諸行無常の響きあり
沙羅双樹の花の色
…

『平家物語』冒頭部分。

沙羅（ナツツバキ）とはどんな花なのか知りたくて
鶴林寺を訪れたのは20年位前だったろうか？
可憐な、透き通るような白い花びら。

釈迦が入滅した時、
花を咲かせたと言われているが、
ぴったりの情景だった。

鶴林寺境内に再び立つ、今日は2011/05/31、
開花期は6月～7月初旬で、まだ、つぼみ。

国宝の本堂にさわやかな風が渡り、
天井からつるされた提灯がゆっくりと揺れ、
数百年の過去に旅をしている気分。

須弥壇の宮殿（厨子）には5体の仏がおわしまして
日本最大の大きさ。
本堂の中にさらに建物がある感じ、平泉の中尊寺
金色堂を想起。
幹栄盛ご住職の説明で初めて気づいた。

太子堂（国宝）の中の壁は900年の時を経てすす
で真っ黒だが、ここに壁画が描かれているらしい。
ご住職が赤外線カメラで撮影し発見、その後、蛍
光X線で色も判明。

東京芸大大学院の協力で制作された復元図が宝生
院に展示されているが、これも一見の価値あり。

優美な鐘楼（重文）は斜めの格子が張りめぐらさ
れ、鐘は外からは伺えない。

60度もあろうかと思える階段を上ると高麗中期
の青銅梵鐘が掲げられていた。

ご住職の撞く鐘の音は気品のある澄んだ音で、
通常聞くゴーンという音に比べて1オクターブ近
く高く感じる。

諸行無常の響きというよりも極楽からの響き。

（「黄鐘調（おうじきちょう）」という音らしいが、
私にはF（ファ）に聞こえた、音痴！）

播磨の地にこんなすばらしい文化財があったのか
と遅すぎる再認識。

沙羅が咲くころにまた、数百年の過去に旅をしに
来よう。

Gutchii

催し物の案内

①映画「祝の島」（ほうりのしま） 原発を考えよう！一週間限定上映

6月11日（土）～17日（金）11：00～（105分）元町映画館（元町商店街にあります）

当日券：一般1700円 シニア・学生1000円

関連企画 「原発の『安全神話』を考える」

6月11日(土) 14:00～ こうべまちづくり会館(元町映画館から少し西にあります)

- ・「『祝の島』と上関原発問題」瀬瀬あや監督
- ・「原子力の専門家が原発に反対するわけ」小出裕章氏(京都大学原子炉研究所)

参加費: 500円(『祝の島』の半券お持ちの方は無料)

②おおくぼ9条の会創立5周年記念のつどい「基地のない平和な沖縄を」

と き: 6月12日(日) 13:30～16:00

ところ: 大久保市民センター2F会議室(国道2号線沿い、大久保東信号近く)

講演 大城盛俊さん「沖縄戦を語る」 参加協力費 500円

第48回世話人会 と き: 2011年7月16日(土) 午後1時半～3時半

ところ: 岩岡連絡所多目的ホール(小) どなたでもご参加下さい。

憲法9条の会・岩岡 連絡先: 白井篤子(078-967-2758)